



2025 年 4 月 11 日

能登半島震災後、七尾港にセメント運搬船初入港

エスオーシー物流株式会社(本社:東京都千代田区神田駿河台、社長:寺西達明)は、セメント運搬船「大峯丸」(船主:大窯汽船株式会社)にて震災後、住友大阪セメント株式会社七尾港サービスステーション(以降、七尾港SS)に初入港しました。



住友大阪セメント株式会社(社長:諸橋央典、本社:東京都港区)は、令和6年能登半島地震で被災した七尾港SSにおけるセメントおよび石灰石骨材の運搬船による受け入れを2025年4月2日より再開いたしました。

七尾港SSは、令和6年能登半島地震により大きな被害を受け、セメント運搬船による受け入れが不可能となりましたが、すべての復旧工事が完了し、エスオーシー物流株式会社の運航船大峯丸(総トン数:4,186トン/竣工:令和3年8月)にて震災後初入港致しました。

同港は石川県能登地方におけるセメント需要の約7割の供給を担っており、海送での受入再開により能登地方の復旧・復興工事の本格化に向け、安定供給を行う体制が整いました。

以上

【本件に関する問い合わせ先】 管理部 TEL03-5298-2311

エスオーシー物流株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4